



浪江町長
馬場 有

平成28年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

複合災害の発災以来5回目のお正月を避難先で迎えられました皆様には、あらためて心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年は本格的除染(残念ながら帰還困難区域を除いて)が始まり、計画のほぼ45%が終了、津波被災地の墓地、大平山霊園が竣工し、防災集団移転地の78%の面積を取得しております。また、請戸漁港の周辺整備と新たな防波堤工事が着工しております。

住環境整備においては町内に災害復興公営住宅の用地確保ならびに防災集団移転先団地、賃貸公営住宅の改修工事の設計調査に努めており、さらに上水道の通水可能地域を60%確保し、下水道の改修も急ピッチで進めております。

町内での再開事業者も18事業者になり、農地再開のための水稲実証栽培でも、収穫米の一部販売が実施される等々、

復旧の兆しが見える年となりました。

今年はいよいよ「復旧実現期」の最終章に入ります。町執行部、役場職員一丸となって復旧の加速化に努めてまいります。

そこで、平成28年はインフラ(いわゆる道路・上下水道・電気等)が避難指示解除準備区域でほぼ復旧します。また、生活基盤整備のために役場本庁西側に医療施設を建設します。さらに高齢者のサポート拠点のデイサービス事業計画に着手し、114号国道第2工区の拡幅と同時に、その北側に交流・情報発信施設(通称道の駅)構想を具現化させるため、用地確保に努めます。また、中心市街地を新たなまちに創建するため、コンパクトシティ形成のイメージを皆様提案します。

一方、買い物ができる複合商業施設、雇用の場を確保するため工業団地の整備計画を策定し、企業誘致のハード面

を整備します。住環境整備のため、災害復興公営住宅ならびに賃貸公営住宅の建設・リフォームに着手します。将来の学校再開のために、浪江東中学校周辺のハード整備に入ります。

また、町として国のイノベーション・コースト構想と融合するまちづくりを提案しております。農林水産業の再生・防災対策拠点の整備・資材リサイクルセンター設置・エネルギー関連産業のプロジェクト等々は、これからの課題になっていきます。町が目指す青写真となるため、具現化できるようにこれからも要請します。

いづれにしても、町の復興には様々な課題がありますが、本年は浪江町の復旧実現の総仕上げと位置づけ、次の復興創生につなげる年にしたいと考えております。

「どこに住んでも浪江町民」の理念の下、これまで継続している生活再建・生活支援の維持ができるよう、「絆」を絶

やすことがないようしっかりと努めてまいります。

また帰還困難区域の拠点づくりのため、地区代表者の方々と課題を整理し、除染計画作成を急ぐよう環境省・復興庁に強力に要請して地域再生の足がかりとします。

以上、本年の私の所信の一端を述べさせていただきました。ご理解とご高配のほどよろしくお願いたします。

私事で大変恐縮に存じますが、このたび再度町長職の重責を担うこととなりました。浅学非才ではありますが、全力を傾注しこの難局に対処してまいりますので、旧に倍してご指導をお願いいたします。

最後になりますが、寒気の厳しい折、皆様にはご健康に留意され、新年が良き年となりますようご祈念し、年頭に当たっての挨拶といたします。

「日々新たに
また日新たに!!」

新年のご挨拶



浪江町議会議員
吉田 数博

平成28年の新春をお健やかに迎えられた事と存じます。故郷を離れ5回目の正月であります。心さびしい正月ではないかと拝察いたします。

昨年は、復興計画や復興まちづくり計画に基づき、住民の生活再建、町内の環境回復、各種復興、生活環境の整備を進め、町の復興の姿がようやく見え始めてまいりました。

11月中旬、復興庁から住民意向調査が公表されました。本町においては、避難指示解除後の帰還の意向について、「すぐに、いずれ帰還する方」が17.8%、「判断がつかない方」が31.5%、「帰還をあきらめた方」が48%、無回答が2.7%となりました。

また、帰還する場合の条件とする主なものは医療・介護の整備、商業やサービスの施設整備、元の家屋に住めること等であり、被ばく低減対策も主要な条件としております。政府は、平成29年3月までに帰還困難区域を除く二地域の避難指示

解除を目指すことを閣議決定しておりますが、さまざまな状況を勘案すると解除は予断を許さない状況であると考えております。

昨年の議会における震災対応、ふるさと再生対応は議会だより等でお知らせしたとおりであります。特に町民との懇談会、国、県、東電等に対する要望・要求活動を行ってまいりました。直近の要望活動では

国道114号整備要望(命の道路、避難・復興道として全面改良整備、浪江拡幅)二工区の早期完成、町の交流・情報発信拠点に併設が予定されている「道の駅」機能の早期整備)と放射性物質汚染廃棄物等の対応に向けた緊急要望(各市町村が一般廃棄物として処理するよう定められている汚染飼料が宮城県白石市より浪江町の牧場に搬入された問題)を実施いたしました。道路整備は復興の要であり、放射能対策はふるさと再生の柱であり、厳しく対応する様、要望を行いました。

12月初旬、なみえ絆いわき会から芋煮会を通しての懇談会の案内をいただき参加してまいりました。100名を超える方々が元気に出席され、有意義な時間を過ごさせていただきました。皆様方それぞれ健康管理を充分留意し、諦めない心、絆を大切に過ごしていきたいとのこと、当面帰還を諦めていない方も、いづれ故郷に帰れる事を願っているとのこと、議会としての対応を一層、推進しなければならぬと感じてまいりました。

本年は避難されている町民の方々の生活再建、生活支援、ふるさとなみえの再生を柱とし、除染、賠償、住居の改善整備、医療費、国保税の減免処置、高速道の無料化等の継続を求めてまいります。

心の痛む日々が続く、大きな夢や希望は持ちづらい日々ですが、諦めない気持ちで大事に絆を深め、一日も早い故郷なみえの復興、再生をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



浪江町議会議員
(議席番号順)

- 渡邊 泰彦
- 佐々木 勇治
- 鈴木 幸治
- 平本 佳司
- 松田 孝司
- 山崎 博文
- 若月 芳則
- 佐々木 恵寿
- 山本 幸一郎
- 泉田 重章
- 佐藤 文子
- 紺野 榮重
- 三瓶 宝次
- 馬場 績